

歴史をろう！

①八橋かきつばた園

八橋のかきつばたは、平安の歌人「在原業平」が、「からころも きつつなれにし つましかればはるばるきぬる たびぞしぞおもふ」と、句頭に「かきつばた」の5文字をいれて詠んだように、伊勢物語の昔から知られるかきつばたの名勝地です。

②無量寿寺

本堂に金箔仕上げの本尊聖観音菩薩像(木造)が安置され、向かって右側に在原業平の立像(木造)、左側には阿保親王像(業平の父)と伊都内親王像(業平の母)が安置されています。

また、4月下旬から5月中旬ごろまで、かきつばたの群生をみることができます。

③かきつ姫公園

平安の頃、この付近一帯は低地になっていて、逢妻川の乱流の洲であった伝えられています。ここには松があり、かきつばたが咲き乱れていました。

業平は東国へ下る途中、足をここにどめて、花を觀賞し、都を偲ばれたそうです。

④業平塚

業平が逝去され、大和石上の在原寺に葬られました。その遺骨をこの地に葬り、そばに草庵を建て菩提を弔ったとされています。

塚は室町時代初期のものとされています。また、地名にちなんで「五輪の塔」として親まれています。

⑤在原寺

業平の菩提を弔うための「業平塚」が築かれた折、その塚を守る人のお堂として創建されたと伝えられています。

一時途絶えたこともありましたが、文化6年(1809)に方巖和尚により再建されました。

⑥来迎寺・一里塚

来迎寺は、931年に山城国宇治の平等院の僧が開創したとされています。30年に一度開帳される如意輪観音像が秘仏となっています。

一里塚は、1604年に徳川家康が江戸日本橋を起点にして築かせた一里(4km)ごとの道標で道の両側に作られています。



距離 約 5.9 km

9:00	集合	知立文化広場
9:15	出発	準備運動 記念撮影
9:20		無量寿寺
9:40		八橋かきつばた園
		1.1 km

9:55		池下公園(休憩)
10:05		才兼池
10:10		0.2 km
10:30		落田中の一松
10:50		1.5 km
10:55		業平塚
11:05		0.5 km
11:10		在原寺
11:20		0.2 km

11:25		牛橋公園(休憩)
11:35		0.6 km
11:40		来迎寺
11:50		0.4 km
		明治用水緑道
		1.2 km
12:05	到着	知立文化広場
12:10	解散	アンケート記入 記念品受け取り 流れ解散